

小学校って楽しい！

野田市立野田幼稚園長 ^{うちだ}内田 ^{みつえ}光恵



1 はじめに

本園は、しょうゆの街として知られる野田市内中心部に位置し、商業施設や工場に囲まれた古い町並みが残る地域にある。駅からも近く、子供たちは市内全域から通ってきている。地域の方との関わりも多く、カレーパーティーやホットケーキ作りなど様々な行事において一緒に調理する体験等を行っている。また、小学校が隣接していることで交流しやすい環境に恵まれている。

2 野田市の取組

野田市では、「幼・保・こ・小連絡会」を設置し、年二回、交流活動の見直しや情報交換等を行っている。また、各地域ごとに様々な交流活動を行い、小学校教育との円滑な接続の推進に向けて特色ある実践を行っている。

3 本園の小学校との交流活動

今年度、新型コロナウイルス感染症のため、交流活動の実施を見合わせていたが、様々な感染予防対策を行い、7月に小学校の昼休みに合わせて、校庭で一緒に遊ぶことができた。「ドンじゃんけん」では、小学生が片足ケンケンで進むルールを考え、園児との力関係に差が出ないよう配慮している様子が見られ、小学生の優しさに触れ、小学校を身近に感じる事ができたようである。



昨年度は、1月末に1年生から保育所の年長組と共に招待を受け、「なかよくあそぼう

の会」を実施した。1年生が準備してくれた、福笑い、おはじき、すごろくなどの伝承遊びや輪投げ、けん玉などのゲームが所狭しと並び、園児は、1年生とペアになって遊ぶ経験をした。始めは、緊張している面持ちだった園児も、ほとんどが手作りで温かみのある遊び道具や1年生が優しく教えてくれたことで、楽しく遊ぶことが出来たようである。また、いろいろな遊びを体験したことが刺激となり、後日、園でもすごろくを自分で作ってみようとしたり、こま回しやあやとりに挑戦しようとしたり、遊びが発展する姿が見られるようになった。

1年生から優しく接してもらったことで、年少児に対しどのように接したらよいか、体験から具体的に考えることができ、年長としての自覚が高まっていったようである。



小学校の様子を見ることができたことは、入学に向けての不安を取り除き、期待を高めることに繋がったと思われる。

4 まとめ

小学校へのスムーズな接続のためには、子供たちの交流だけでなく、教師間の連携が必須であると考えます。幼稚園は、幼児の主体的な活動の充実に取り組む。幼児・児童の学び合いを意識した活動を教師間で共有することが幼児の心豊かな成長へ繋がっていくのではないかと思います。今後も幼児の心の育成を充実させるための交流を進めていきたい。